

野球部出身の
スーパールーキー

工事部

高橋朋也さん

1993年4月生まれ。青森県五所川原市出身。

株式会社今与建設

本社 / 〒037-0203

青森県五所川原市金木町喜良市弓矢形26-1

TEL. 0173-53-2307

FAX. 0173-52-5255



入社2年の駆け出し技術者。 「資格をとって早く一人前になりたい」

先輩技術者の父から激励

間もなく入社して2年になる。技術者としてはまだまだ駆け出しの身だが「少しずつ仕事の面白さがわかってきた。早く一人前になって工事を最初から最後までやってみたい」と意欲的に語る。

高橋さんは、青森県五所川原市こしよがわらに生まれ育ち、現在も実家に住んでいる。小学4年から始めた野球は、高校3年まで続けた。「制服がかっこいい」警察官になりたい時期もあったが、地元の道路建設会社に勤める父の背中を見て育った影響もあり、五所川原農林高校の土木科に進んだ。

漠然と「建設会社に入りたい」とは思っていたものの、なかなか就職先が決まらず、悩んでいた。そんな折、高校の野球部OBから「うちの会社（今与建設）で社員を募集しているぞ」と聞き、入社試験を受け、見事合格した。



野球に打ち込んでいた高校時代

技術者の先輩である父も「非常にやりがいのある仕事だから、体に気を付けながら思い切り頑張れ」と励ましてくれた。

建設用語も理解できず、右往左往

最初に携わった現場は、小学校新築の杭打ち工事。工事写真の撮影や測量、注文通りの資材がきちんと届いているかをチェックする仕事を手伝った。

当時について「先輩についていだけで精いっぱいだった。高校で習った測量は役に立ったが、その他は言葉（建設用語）も理解できず、何を頼まれているのかも分からなかった」と振り返る。

それでも「先輩たちは自分の頭で考え、工夫しながら仕事をしている」ことは分かった。工事写真を1枚撮る際も、どの角度から撮れば全体が入るか、どうすれば見やすくなるかを工夫していた。なぜなら、写真の出来栄も工事成績の対象になるからだ。

次の現場は、林道の維持修繕工事だった。前の現場とは打って変わって朝から夕方までずっと山中での仕事だ。真夏の暑い時期だったが、野球部出身とあって、暑さは苦にならなかった。

その現場では、作業員に指示を出す仕事も一部任された。作業員はみんな年上で、父親より年配の人も多かった。「最初はど話しかけたら良いかも分からなかったが、仕様書を携たずさえながらやってほしいことを必死で伝えた。最後の方は、向こうから声を掛けてくれるようになった」。

ものづくりの楽しさ味わいたい

面白いと感じるのは測量だ。ただ測るだけでなく、計算も

必要だが「もともと数学が好きだったので、計算は得意。誤差が出なかった時は、うれしさを感じる」という。

少しずつ現場の経験は積んでいるものの、「技術者としてはまだまだ未熟者であることは自分が一番分かっている」とし、「まずは2級土木施工管理技士の資格取得を目指したい」と力を込める。

さらに「1級の資格をとって主任技術者になれば、最初から最後まで現場を任せてもらえる。ものづくりの本当の楽しさを早く味わいたい」と意欲を示す。

ある現場で、近くに住む人から「道路をきれいにしてくれてありがとう」と声を掛けられたことがある。その時、なぜ父が技術者であることに誇りを持っているのか、少しだけ分かった気がした。

上司・先輩から一言

【今俊順代表取締役副社長】

高橋朋也君は、2012年に入社後、現場経験が少ないにもかかわらず、東北地方整備局や東北農政局などの現場に配属され、毎日忙しく仕事をしています。今はすごく大変かもしれませんが、非常に貴重な体験になっているはずですよ。必ず素晴らしい技術者になってくれると期待しているので、これからも頑張ってもらいたいです。



現場 訪問

高橋さんが携わっている現場は、青森県の「旧十川広域河川改修工事」。大雨などによって川の水位があがって氾らんしないように土を盛るのがメインの工事だ。

きちんと管理して土を盛らないと、その部分から氾らんする可能性があるため、基準値を守りながら工事を進めている。地盤がしっかり落ち着くのには、2～3年掛かるという。

また、地域住民のための道路改築も含まれている。生活道路として使われているため、交通安全を確保する必要がある。

河川と道路の両方の知識が求められるだけに、高橋さんにとっては勉強になる現場だ。



教えて！ 建設用語

【振動ローラー】

地面を押し固める際に使われる鉄輪ローラーが付いた建設機械。機械の重さのほかに、鉄輪や機体に起振装置が付いており、それによって生じる起振力で締固めの効果上がる。

